

緑友  
だより

No. 14

全国印刷緑友会機関誌

東京都杉並区和田1-29-11 (社) 日本印刷技術協会

第11回全国印刷緑友会大会  
神戸でひらく



# 神戸・光る朝から須磨の夜雨まで

神戸は晴れていた。おだやかな朝の陽が海に映え、淡路島はかすんでいた。港から潮の香りがした。秋の訪れを告げるさわやかな港の風によって、汽笛がときおり聞え神戸市庁の花時計のあたりで、なにかがキラリと光る。

## 大会行事 10:00

緑友会第11回大会は、全国各地の青年印刷人227名の参加のもと、新装の白く清潔な兵庫県民会館において午前9時30分開会された。大会実行委員長武重治君の司会、開会宣言は札幌緑友会藤田俊雄君。続いて国歌斉唱、歓迎の拍手のうちにグループ紹介。参加グループは次の通りである。(申込順)久留米プリンティングクラブ、熊本プリンティングクラブ、下関青年印刷人緑友会、札幌緑友会、福岡印刷若葉会、印刷同友会、神奈川正和会、名古屋而立会、仙台刷親会、文京緑友会、ぎふ翠陽クラブ、茨城緑友会、佐世保印刷若汐会、長野青年印刷人緑友会、大阪写真製版二世会、群馬緑友会、大阪青年印刷人クラブ、広島緑友会、北九州YPクラブ、神戸印刷若人会、特別参加として、佐賀県印刷人若楠会、同じく特別参加山梨若人会である。緑友会発足以来、惜しくも世界した同志に対して全員起立黙禱。

大会ホスト、神戸印刷若人会幹事長岸時弘君の青年印刷人らしい歓迎のことば、について緑友会幹事長白石豊君の幹事長挨拶があった。祝辞は兵庫県知事金井元彦氏で、他の集会によく見られる代読ではなく、知事自身のご出席である。知的で穏やかな風貌の中に、熱意をこめて未来を担う青年に対する期待と希望を、アフリカ旅行の途次、ザンビアで会った日本人青年の思い出を交えて語られ、祝辞というより、激励に近いものであった。次いで、兵庫県印刷工業組合理事長福田三八一氏の祝辞は、「秋の連休に全国からお集まりになるかどうか

か、心配していたが、かくも多数参加され感謝にたえない。大会において真剣な検討を重ねられ、さき程白石幹事長のことばに「理想の追求と現実の把握は、緑友会の性格である」とあったが、皆さんは今日の研究の結果を各地方に持ってかえられ、「実行に移していただきたい」と緑友会への期待を述べられた。その他の議題において、次期総会つまり来年度の第12回総会開催地の決定報告は、午後の常任幹事会を経たのち発表すると白石幹事長から発言。なお、日本印刷技術協会に対する緑友会の協力に関して、札幌緑友会における議決、その後の全国アピールの結果、通信教育生(4月現在で2,800名一現在3,800名)増加したことに対し、日本印刷技術協会理事長新村長次郎、専務理事塚田益男、二氏連名をもって緑友会あて丁寧な礼状が寄せられていると報告。以上で大会行事を終り、記念撮影を行った。撮影のため机椅子を多少動かす必要があったが神戸印刷若人会員のキビキビした働きがあってスムーズに終る。

## 記念講演

「経営における人間」——その意識と個性がどのように経営体に影響するか。

講師はパートナーシャフト研究会理事、三和鉄軌工業株式会社、総務次長竹山尚氏で、パートナーシャフトすなはち、人間学的研究に基く、「企業の協力者制度」について、豊富な事例をあげながら

1. 経営者の意識構造、パーソナリティ、
2. 経営者、管理者のパーソナリティタイプ
3. 日本の中小企業経営者の意識構造
4. 創造的経営とパートナーシャフト経営の日本の事例紹介を行い、感銘を与えられた。

コンサルタントを職とする流行タレントによく見られるような芝居気もはったりもない、地



味な講演であったが、それだけに、管理者層に属する会員に、多くの示唆を与えた。いかに熱心な講演でも2時間で、パートナーシップ経営のすべてが解明されたわけではない。各企業に存在する人間学的問題の対策が与えられたわけではない。それでよいのである。なぜなら、この講演において、基礎を学べば、各自の動機に応じて、方法を定めることができる。人間認識は至難である。しかし、ここに人間学に基礎をおく貴重な研究がある。経営における人間の意識と個性の省察がある。コミュニケーションという、やや機械的語感に代ってレポートという、人間くさい・生々しい概念が語られただけでも、たいへんな変革である。大会記録が近く刊行されるので、この興味あるべき講演を、再読三読されることがのぞましい。

## 分科会 13:00

### 第1分科会

営業管理者の課題 平版  
 テーブルリーダー 大隈 瑞茂君(福岡)  
 大河内信行君(名古屋)

### 第2分科会

営業管理者の課題 凸版  
 テーブルリーダー 海老 良周君(大阪)  
 土井庄一郎君(東京)

### 第3分科会

原価管理への手法 平版  
 テーブルリーダー 虎谷 豊二君(東京)  
 中村 昭治君(福岡)

### 第4分科会

原価管理への手法 凸版

テーブルリーダー 小林 行昌君(東京)  
 松尾隆一郎君(佐世保)

### 第5分科会

いま業界のうつつ手は何か  
 テーブルリーダー 岩岡 敏志君(大阪)  
 大川 英郎君(神奈川)

分科会の3時間については、参加会員の問題意識がどのように分科会に反映されたか、その成果如何、……これは参加者各人の意見を総合する以外にないが、分科会方式、運用において反省すべきことがあれば、常任幹事会と総会を通じて、早期に検討する必要がある。

今回のテーマ設定は、数多くのテーマを幹事長案として全国の幹事(代表)に送り、会ごとに会議を持って、希望を出してもらい、これを常任幹事会で煮つめたものである。しかし、テーマ設定が1年くらい以前に決定していれば、研究発表—それをめぐる討論—という方式も採用されてよい。このような検討が早急になされないと、テーブルリーダーのご苦勞にかかわらず、貴重な3時間が問題提起に終わってしまうことがある。

ともあれ、熱心なる時間の討議を終えて、各分科会から廊下にあふれてきた会員は、疲れの色もみせず整然とホールに集合した。

## 分科会結果報告 16:00

大隈君、海老君、中村君、松尾君、岩岡君より分科会結果報告あり。それぞれ短時間の報告で問題点を集約して報告された。この内容は「大会記録」について見られるよう、お願いする。神戸印刷若人会の心こもる須磨の懇親パーティは、参加会員の感想を以て報告に代える。

## 大会に参加して

札幌緑友会 藤田俊雄

緑友会大会バンザイノ神戸印刷若人会の皆さんご苦労さまでした。

何年ぶりかで名神高速道路をつっぱしり、何年ぶりかで見る六甲の山脈。天気も良し、快適なドライブを味わいながら、神戸に入りました。会場に当てられた県民会館、明るい感じの、まさに緑友会の大会会場にふさわしい建物でした。

大会の開会に、兵庫県知事の同席をいただいたことは、出席された緑友会の皆さんが感謝したことでしょう。神戸印刷若人会の皆さんのこれまでのいくたの業績を再確認したような気がしました。更めて、心から讃辞を送ろうではあ

りませんか。

この度の第11回大会があのか開会式ですべてを決めたといっても良いのではないのでしょうか。

今大会が従来の大会の豪華さにくらべると、質素の中にも内容のあるという感じをいだかせたことは、………過去のそれが立派すぎた………今後の大会を開くに当たって、一つの指針として考えねばならないという感じを受けました。

緑友会の諸行事は緑友会自体が運営するものであることは言をまたないが、受け入れグループの献身的な奉仕なしでは、実施できない大きな規模に成長した現在、改めて考えねばならないと思いつつ、大会感想としたいと思えます。

## 地方の実情を反映せよ

佐世保印刷若汐会 松尾隆一郎

緑友会大会に出席したのは、仙台大会に次いで二回目になりますが、本当にこの大会運営に当られました、地元神戸印刷若人会の皆様の御苦労に先づ感謝したい気持ちでいっぱいです。大会の運営は実に立派で、我々地方の者にとって意のあるところが、もりたくさん折込まれて、明日からの仕事に大いにファイトが湧き上がってくるようでした。本当に有難う御座います。

ところで神戸大会の感想をということですが、二回しか出席していない私が感想なんておこがましいとは思いますが、神戸大会は云う事は無い位立派な大会でした。ただ分科会の問題の取り上げ方とその内容について一言。都会と地方の格差をもっと考慮した取り上げかたをしていただければ、と思います。これがややもすれば都会的な考へ方に集中し、地方のものがついていけない状態が、しばしばあるのではないのでしょうか。一例をあげれば第4分科会で熊本プリンティングクラブの会員より出た「仕上部門の原価管理」の問題、都会では分業システム

で、さして重要性は無いでしょうが、地方にとっては、この部門の原価管理は、いかに重要であるか、もっとお互いに論ぜられるべき事だと思います。以上のような事が各分科会にも生じたことではないのでしょうか、又こういう問題が今後必ず出てくる事でしょうし、この解決策が是非望まれるのではないのでしょうか。

都会と地方の合理化の差、物の考へ方の差など、いかにすべきか幹事会の一考を望みたいところで、この問題が解決すれば、もっと緑友会の組織が拡大される大きな原動力となりはしないのでしょうか。私はそうなることを確信いたします。

都会における組織・労働・機械の合理化を目標に地方でも日夜努力して頑張っていますが、都会では日進月歩の足どり、なかなか追いつく事は困難なのです。これも地方の周囲の状況がそうさせるのであって、この実情を今後とも考慮され、緑友会大会に反映される事を望んで感想と致します。

## 分科会の反省

神奈川正和会 大川英郎

第11回大会の第5分科会（いま業界のうつ手は何か）を担当した一人として感じた事を申し上げてみたいと思う。

何時もの事であるが、分科会のリードの仕方に就いて、事前の打合せが無かったため、いわゆる、ぶっつけ本番ということになってしまった。私と共に司会の任に当たった大阪の岩岡さんと私との間に、いさゝか考え方のギャップがあることも、私を狼狽させた。一応、私にお任せ戴いた形で討議が進行したが、私としては絶えずこの事が気にかかった。

初めの30分位は、会員がどういう期待を持ってこの分科会に集っているかを探る意味から、いたって散漫な司会ぶりになってしまったが、時間の経過につれて、次第に方向がさだまり、やっと具体性のある内容が展開していった。そして、これも何時ものことであるが、会場の空気がようやく一つにまとまって、一応問題が出そろったと思われる頃には、既に時間が

無くなってしまおうという結果に終わった。誠に残念でもあり、司会者として甚だ申し訳なく思っている。

今後、分科会のリーダーとしては、ぜひともやはり事前の打合せが必要であり、複数のリーダーを立てる場合は、パネルディスカッションの方式をとることも考えて良いと思う。分科会の持ち方に就いて、基本的な態度を決定しておく必要があるかと思われる。

しかし、緑友会の性格と現実から考えて、今回の分科会も、それなりの意義と価値を持つものだと考える。全国の仲間が一堂に会し、共通の問題を語り合うだけで、目的は達せられているのである。運命共同体としての意義が、我々の中に成長して行きさえすれば、緑友会の存在は、立派にその価値を認められているといえよう。

最後に、神戸印刷若人会に感謝と敬意を捧げ、緑友会の発展を心から祈念する。



緊張の分科会結果報告

分科会場・熱心な顔、面白そうな顔

## 今宵「ひと」となりぬ

印刷同友会 虎谷豊二

「21世紀は日本の時代」と未来学者のうれしい予測を念頭に、9月22日、全国より青壮年印刷人一壮年とは緑友の如き活気に溢れている印刷人の総称で、年令の如きは凡そ眼中にない者を云う一が神戸大会にぞくぞくつめかけました。講演会から分科会、成果報告そして閉会宣言をして、最後の舞台、「須磨観光ハウス」に移る頃は、シッポリ濡れる雨が須磨の緑を一層濃く彩ってくれました。

中畑氏の司会に、清酒大関のかゞみを白石幹事長が真剣な表情一杯に、見事に抜いて、木の香がひとしお風情を加えての樹酒、空模様もかくやと許り生ビールの雨、それに加えて花隈のいき筋が腕によりをかけて……だろうと思ひ込んで居ります……すゝめられては、少々不調法の諸兄も思はず樹（盃ではなく檜の香りたかい樹ですよ）を重ねずには居られないでしょう。未来を語るも大切だけれども、現実は更に楽しいな、などと感じよくぞ印刷人として緑友の一員であったかの幸福感を再認識させられたの

は、私一人ではなかったことでしょうね。……席を同じくして、盃を汲みかわせる交遊、これこそ明日の業界に固く手を握ることが出来るのではないのでしょうか。昔大石内蔵助は、本懐を遂げるために、祖園をさまよひ同志の本当の結末を計ったとか。いさゝか事例が異なるかも知れませんが、未来を論じ、国際競争力を高め、更に近代化を進める為には、ひとゝき「今宵ひととなりぬ」そして北は北海道から、南は九州の緑友が、明日を論じ、今日を楽しみ、時のたつのを惜しみつゝ、万才三唱し、恒例のおてつないでを最後にお別れしましたが、名残の雨は降りやまず須磨の松をぬらしておりました。

末筆になりましたが、神戸のみなさま、御家族の方々まで一緒に、かゆい処に手の届くような、心あたゝまる御持てなし、本当に有難うございました。御礼の申し上げようがないことを、御礼とさせていたゞき、筆を擱かしていたゞきます。

鏡をぬく米賓・寺畑明石市助役



市村初代幹事長の鏡ぬき



幽えんな琴の演奏



乾杯もたのし



## 第11回大会におもう

神戸印刷若人会 武 重 治

第11回全国印刷緑友会大会を、金井兵庫県知事・福田兵庫県印刷工業組合理事長殿を、ご来賓におむかえして、盛会裡に終了させて頂き下さった参加諸兄に心よりお礼を申し上げます。

私達神戸印刷若人会全員は、精一杯の努力をしたつもりですが、不行届きの点が種々あったことと存じます。平素のご好誼にめんじましてお許しの程をおねがい申し上げますとともに、ご参考になることが一つでもあったならば、若人会としては無上のよろこびであります。

昭和43年4月28日札幌において開催された総会において、この大会をお引受してからは、一日も早く9月22日が来てくれるよう、盛大に開催出来るよう、心待ちにそして祈っていたのですが、無情にも午後は雨になり参加諸兄に迷惑をおかけいたしました、「災転じて福となる」の古語の如く懇親会場ではお互いが肌にじかにふれ合った話が出来たことを思うと、天気も若人会に味方をしてくれたのだなど、いささか自慢もしたい。

さて熊本において開かれた第6回大会が終了した直後に発行された熊本大会号(10号と11号の間)の2ページにも書いたが、常た任幹事会で運営されるはずの大会が、ホストグループだけに奉仕が課せられることには私としては納得がいかないことのひとつです。確かに遠来の客ではあるが、遠来の客であるとともにお互いは友でもあるのです。緑友には地元だけが奉仕を強いられることを止めて、会場内へ入ったならば、全員同格であるという互譲の精神を全員が持ってほしい。私は式典終了後記念撮影の時点で数グループの方に、会場整理のお手伝いをお願い

いたが、依頼されたグループは素直にスツと手伝って下さった。あの気持を参加会員全員が開会から「オ手々ツナイデ」の閉会まで持続下さるようこの機会におねがいたい。

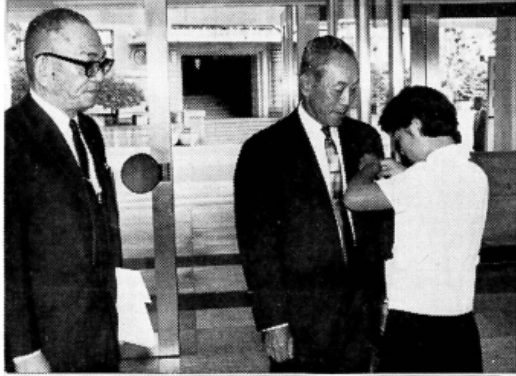
今一つ総会・セミナー・大会を通じ共通した悩みとして、大会当日まで参加者名がはっきりしないことです。経験のあるグループ以外には理解出来ないことですが、登録だけは決められた日時までに完了することを特におねがいたい。ホストグループが丹精こめて作成した案内状すら会員諸兄に配布案内してないグループも見受られたから、どうぞ11回大会を機会にもっともってホストグループの苦労を理解して、積極的協力を切望します(ちなみに第11回大会の参加グループは22でしたが、8月31日の締切日までに登録が完了したのは、わずか4グループであった)

以上大会について特に今後ご留意願いたいことを申し上げ、今後の大会等が良り良くスムーズに運営出来るようご協力をおねがいたします。

本当に有難うございました。



金井兵庫県知事の祝辞



ご来賓に胸章を金井知事（右）  
福田理事長（左）



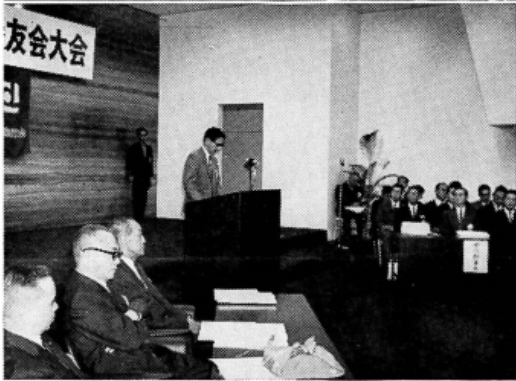
物故者に黙祷



歓迎のことは、神戸印刷若人会  
岸幹事長



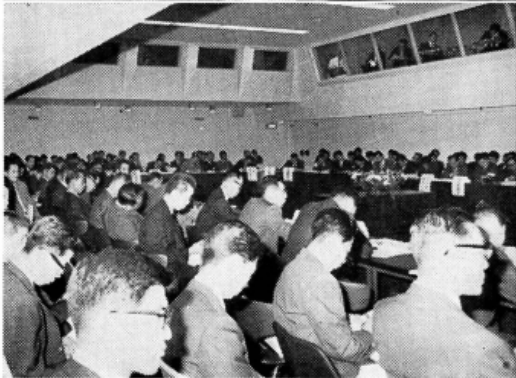
祝辞・福田理事長



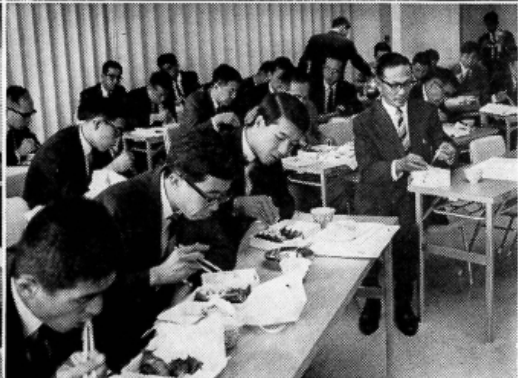
幹事長挨拶と来賓左より竹山尚講  
師・福田理事長・金井知事



グループ紹介に拍手する常任幹事



全国より参加した会員



分科会場でおいしい中食



# グループの動向

## 佐世保会名変更

旧、佐世保青年印刷研究会  
新、佐世保印刷若汐会

## 文京緑友会 幹事長変更

幹事長 松本喜美雄 (松本精喜堂)  
事務所は変更なし

## 茨城緑友会 役員交代

幹事長 大塚 成治  
(有)かつた印刷所専務  
常任幹事 小林 十三  
二鶴堂印刷所専務  
〃 手塚 美成  
笠間印刷所社長  
会 計 長倉 克彦  
(有)カクチョウ印刷所専務  
〃 川島 山郎  
川島紙店専務  
幹 事 江幡 正男  
コトブキ印刷所専務  
〃 柴 次男  
常陽印刷工業(株)社長  
〃 蓮田 久一  
蓮田印刷所社長  
〃 布施 実  
笠間印刷(株)社長  
清水 満  
清水印刷所社長  
事務局 水戸市上水戸2丁目3番1号  
(株)川島紙店内

## 下関青年印刷人緑友会

会 長 泉 和夫 泉菊印刷KK  
副会長 横山 博 早鞆印刷KK  
会 計 松田 幸孝 松田印刷KK  
庶 務 松山 忠彦 下関写真製版KK

## 東京写真製版若葉会

### 1. 昭和42年度事業報告

- 2月4日・5日 第13回総会を熱海・静観荘で開催。  
新幹事長に筒井尚亮君就任す。
- 3月23日 「出版界と製版印刷の将来」と題して、講師に大日本図書(株)書籍部々長・進士益太氏を招いて学士会館で講演会を開催。
- 4月13～15日 例年の従業員関西工場見学および観光旅行は参加者47名の多数で、13日9時急行銀河で出発、錦靖社、ヤマト写真製版、大日本スクリーンの諸工場を見学し、大阪、奈良、京都の観光を行った。
- 4月27日 米国で製版所を経営且つカルソンの技術部長を兼ねているジャック・アンダーソン氏を招いて学士会館で講演会を開催した。
- 5月14日 全国印刷緑友会総会が九州・福岡で開かれた。出席者筒井、小堀、中市、笹田、降旗 5名
- 5月23日 「労働問題と賃金について」と題して講師に賃金管理研究所 所長 弥富 賢之氏を招いて講演会を開催。(東京商工会議所)
- 7月14日 小堀、若林、沼倉氏のドルツバ展視察の話を拝聴旁々歓迎会を学士会館に於て開いた。
- 8月12日 若葉会と大阪二世会との幹事交歓会をホテル池田にて開催、富士フィルム(株)秘書室長夏目通利氏を講師に招き、「近代経営のあり方」と題する講演会と、両会員の相互研究会を行い親睦を深めた。
- 9月3日～4日 全国印刷緑友会セミナーが熱海起雲閣で開催された。出席者筒井、小堀、降旗、日出島
- 月 日 文京緑友会10周年記念祝賀会が行われた。出席者 筒井

- 9月24日 撮影会を小西六の後援により参加者多数を得て、横浜三溪園にて開催した。  
応募 120点余の内、入賞作品を決定、12月5日に表彰並びに賞品授与を行い、作品展示会を12月1日～5日まで組合会議室で開いた。
- 10月7日～8日 臨時総会を熱海ニューフジヤにて開催し親睦を深めた。  
尚 当日「製版界の問題点をさぐる」と題し、社団法人日本印刷技術協会 常務理事 松尾真利先生の講演と、当会小堀、日出島、柏木氏を囲み研究討議を行った。
- 10月21日 全国印刷緑友会仙台大会。出席者筒井、降旗、小堀、柏木
- 11月29日 「これからの製版界の全貌」と題して大日本スクリーン営業課長公文哲氏を招いて講演会を開催。
- 12月14日 過ぎし1年を反省し、来る年の希望を語り合った。  
忘年会を芝・三船にて開催した。
- 1月12日～13日 大阪二世会が多数上京、ミカ製版、東光製版、陽成社、東陽印刷、学術製版の見学を行い、お互いに親睦を深めた。

## 2. 昭和43年度若葉会行事計画

- 3月 講演会 製版界の今年の見通し  
講師 松尾真利先生
- 4月 工場見学 都内工場
- 4月28日 札幌 緑友会総会
- 5月 関西見学 関西工場見学と観光
- 6月 講演会 労務・賃金
- 8月 緑友会 セミナール
- 9月 講演会 時局問題
- 10月 ハゼ釣大会
- 11月 講演会
- 12月 忘年会
- 1月 大阪二世会 上京
- 2月 定例総会 講演と総会

## 3. 現状と問題点

当若葉会は写真凸版専門の二世乃至は管理者と若干の製版機械業者で構成され現在会員数は67名です。従って若葉会の運営についての現状や問題点よりも、写凸界全体の現状と問題点の方に現時点でのウェイトが高いのでその方について若干述べてみます。

### ◎経営規模とユーザー分布

近代化計画に基づいた適性企業規模は大体企業当たり50名位と記憶しておりますが、現状での平均企業規模は20名前後月商500万円位だと存じます。従って明確な経営管理組織もなく、社長個人の実力と魅力で経営がなされている企業が大半を占めています。

他産業に比べ経営規模が小さい事や労働環境が劣っている事等の理由で、新規学卒の採用がむずかしいのが現状で、企業内のモラルの低下にもつながっていると考えられます。

ユーザーについては、出版社等からの直接受注と印刷所からの受注とに分けられますが、比率は直接受注30%に対し、印刷所よりの受注70%位だと思います。印刷業界の最近の傾向は、オフセット化、高速化、大型化に進んでいるため写真凸版の受注量は自然増程度しか期待出来ないものと考えます。

### ◎今後の方向

#### A 従業員の教育と経営管理組織の確立

日本写真製版工業組合連合会を母胎とする従業員対象の通信教育が6～7年前より発足し、通教生も数千名を数えるに至っており、こう云った組織は他産業でも極めて珍しいケースであり、企業としても充分利用すべきものと考えます。

現在技術と一般教養と併行で授業が行なわれておりますが、終局の狙いは職場モラルの向上だと思います。そう云ったものをベースとしてワンマン経営から逐次権限委譲の過程を得ながら管理組織に結実させる事が是非共必要な事と考えます。

## B 採算維持とオフセット製版への進出

前述のように写真凸版の絶対量が固定化もしくは漸減傾向にあるため、このまゝでは人件費負担に耐えきれず経営悪化をもたらすものと考えられます。そのため、お互いに競争しながらも、写真凸版の分野で納期なり、品質なり関連業務（版下、写植、デザイン等）なりに企業特質を明確に出し、受注量の維持と採算の維持をはかりながら、他面オフセット製版への進出をその企業とユーザーとの関連を考えながら設定する事が望ましいものと考えられます。

## 大阪青年印刷人クラブの現況

### 1. 組織の現況

- (1) 会員数 59名（印刷 41名、関連業 18名）
- (2) 42年度における会員の変動
  - 入会 2、脱会 3（△1名）
- (3) 事務局（株）印刷之世界社内  
（大阪市東区淡路町1-7）
- (4) 役員 会長 岩岡 敏志（岩岡印刷）  
副会長 作道 亮雄（作道印刷）  
島 敬次郎（福進社印刷）  
相談役 池田 才一（新光印刷・大印工専務理事）
- <幹事> 三役ほか 14名

### 2. 42年度活動の概要

- (1) 4月 第5回定時総会（15日、有馬グランドホテル）  
40名出席、報告および予算、事業計画決める
- (2) 5月 工場見学と研究会（30名）  
会員の富士精版印刷工場を見学。あと新製品新技術の研究発表（発表者＝岩岡、海老）
- (3) 6月 車両事故対策の研究会（25名）
- (4) 7月 ドルツパ施察報告会  
大阪府印刷工業組合主催で、印刷学会、印刷機械貿易、印刷タイムスらと協賛で開く。（出席

者約 300名）

- (5) 8月 第3回トップ印刷人セミナー（26日～27日有馬グランドホテル）  
印刷タイムスと共催の3回目セミナー。52名が参加。講師は末松玄六（名大教授）、後藤清一（三洋電機専務）橋本凝胤（薬師寺前管長）、石橋太郎（松下電子経理部長）の各氏。
- (6) 11月 労務懇談会（近畿印刷保健センター）  
大阪府印刷工業組合と共催。講師に労務管理研究所長渡辺光雄氏を招く。（参加者 約200人）  
年末情報交換会（太閤園）  
バーベキューを囲みながら、歓談、情報を交わす。  
（50名参加）
- (7) 1月 新年互孔会（19日・55名参加）
- (8) 2月 ボーリング大会（21日・大阪ファミリー会館・30名参加）

### 3. 43年度の事業計画

きたる5月18日（土）、午後3時、宝塚市の松楓閣で第6回定時総会を開き、事業計画を決定する。役員も改選の予定。

### 4. 特徴と問題点

- (1) 行事参加者が固定化する傾向がある。行事にバラエティをもたせることと、日常関心の深いテーマをとりあげることで打開したい。
- (2) 印刷業者と関連業者との混成組織であるのが一つの特徴になっているが、この特色を会の発展充実にうまく生かしていくプランが望ましい。
- (3) 最近会員同士で相互の業務ベースの交流もかなり活発になっており、組織のかくれたいい効果として評価できる。

## 茨城緑友会

### (A) 42年度の経過

- 6/14 41年度定時総会  
事業報告 決算報告 役員改選
- 7/3 幹事会  
○42年度事業計画  
印刷料金改正  
会員の親睦  
人員の確保  
茨印工との連携  
企業協業化の研究  
○42年度予算構成について
- 7/5 幹事会(臨時総会打合せ)
- 8/3 臨時総会及び納涼ポーリング大会  
42年度事業計画及予算案承認の件
- 8/16 「積算資料」水戸地区価格の検討会
- 8/21 印刷組合と連携して店頭掲載の印刷料金表の作成
- 9/8 幹事会(9月例会打合せ)
- 9/13 9月例会 印刷料金作成の件  
仙台大会参加の件
- 10/13 仙台大会参加者打合せ会
- 10/26 茨印工と協力して価格委員会を開く
- 11/18 料金表作成打合せ会
- 11/11 幹事会(11月例会の打合せ)
- 11/21 11月例会  
1. 労働人員の確保について  
水戸職業安定所雇用課長を招き討論会  
2. 仙台大会報告  
3. 印刷文化展参加の報告
- 12/12 製本価格委員会の打合せ
- 43 1/9 幹事会(新年会の打合せ)
- 2/4 料金表作成の打合せ会
- 2/14 静岡、横浜へ職業訓練所の視察
- 3/15 幹事会(3月例会の打合せ)
- 3/17 料金表作成の打合せ
- 3/22 歴代幹事長会(雇用問題と過当競争の問題)  
3月例会

第11回全国総会参加の件

- 3/25 歴代幹事長会(雇用問題と過当競争の問題について)  
ベースアップについて
- 4/22 ① 札幌総会に提出する茨城緑友会のグループ活動状況報告について  
② ベースアップについて  
③ 料金票完成報告  
④ 会則第11条変更の件

### (B) 昭和43年度の予定

茨城緑友会の場合は6月改選により次期役員が計画をたてるため未決

### (C) 現状と問題点

- ① 雇用問題に付歴代幹事長が2回に亘って話をもち検討中
- ② 県営印刷所廃止と職業訓練所設置について組合に協力し静岡、横浜の訓練所の視察を行い組合と協力して協議中
- ③ 料金票(ポケット用)作成について活版、平版、製本の各委員は約10回の検討会をもち作成出来た。

## 神奈川正和会の行事

42. 3. 10 東急ホテル 南村(巨人軍コーチ)幹事改選の件  
川上幹事長に一任、新井会計幹事会計報告、後新役員を次の様に決定した。  
幹事長 山形 常任幹事 佐藤  
会計幹事 平井
42. 4. 13 割烹 中志満 古今亭志ん馬師匠  
仙台大会出席者に対する旅費及登録料の支出  
全国印刷人緑友会の年会費及次期全国幹事長選出の件につき大川氏に一任した
42. 5. 18 印刷会館 第10回全国印刷緑友会幹事総会結果報告の件 大川、山

- 形氏
42. 6. 11 北鎌倉 東慶寺  
住職 井上禅定師 住職に卓話を  
頂いた
42. 7. 18 湯本福住 土屋, 塚本, 佐藤(弟)  
三氏の欧米視察談
42. 8. 24 印刷会館 講師 市村氏  
千代田印刷センター運営委員長  
印刷センター御利用と通信教育入  
学に対する御案内, 印刷技術協会  
加入のおすすめ
42. 9. 2 熱海 起雲閣  
仙台大会 出席者登録料 3,000円,  
旅費3,000円計 1人6,000円は会負  
担とする  
緑友会主催セミナーにて土屋会員  
が「欧州に於る印刷会の展望」と  
題し講演あり
42. 10. 12 印刷会館 横浜銀行阪東橋支店長  
桜庭庄太郎氏
42. 11. 29 印刷会館 仙台大会報告と年末賞  
与, 神印労の動き
43. 1. 28 パシフィックホテル 新年賀同交  
換会, 緑友会 幹事会 出席 旅費の  
件, 営業マン手帖の配布  
大阪, 仙台 5,000円  
九州, 北海道 8,000円
43. 2. 22 印刷会館 市村氏外 1名  
印刷技術協会入会のおすすめ
43. 3. 28 東急ホテル 名誉会員 高橋与作氏  
(代理茂)江森, 新井, 岩堀  
緑友会前幹事長 小堀 副理事長  
水谷, 行木  
① 次年度から組合活動へ積極的  
に参加する  
② 日本印刷技術協会への今後全  
員加入を目標に正和会からの参  
加を促がす  
創立10周年記念式典

#### 43. 4. 19 印刷会館

##### (議 題)

##### ・幹事改選の件

山形幹事長より挨拶の後, 平井会計幹事  
による会計報告後, 山形幹事長より次期新  
役員を下記により選出, 承諾された。

幹 事 長	佐々木
常 任 幹 事	石 川
会 計 幹 事	水 谷

##### ・高橋与作氏から正和会へ御挨拶をいただく

##### ・山形氏より

1 「日本印刷新聞の記事に載った印刷工業  
組合に対する正和会の活動とは、印刷工業  
組合の発展と安定、と考えたい。」

2 中金より組合員に対する融資条件（返済  
方法）が容易になったことと金融問題

3 最近の印刷会社の倒産と組合の金融問題

##### ・佐々木新幹事長より

1 今後印刷工業 組合に どの様に 協力する  
か。との議題が 提出され, 様々の 意見交  
換。

##### 2 技術協会への加入

その加入方法は会員個々に一任

##### 3 会員の増員及体質改善

新入会員選考委員, 鈴木, 山形, 土屋, 大  
川, 佐々木

##### 4 正和会のOB会員を新たに作る案

定年制とし45才, 50才の2案が出て50才  
定年制に決定し, OB会員は年会費, 当番  
幹事は不要とし, 今回の決定でOB会員と  
し鈴木, 安田, 西岡の三氏が新たにOB会  
員となる。

##### 5 次会例会 技術協会から講師に松尾氏を 予定

6 年会費の件 会計年度4月1日～3月31  
日 年間13,000円, 半期分 6,500円とし5  
月, 9月に徴収(会計年度が1ヶ月づれた  
ので 1,000円加算された)

## 福岡印刷若葉会

### 昭和42年度事業報告

42. 4 定時総会
- ／ 5.14 全国印刷緑友会第10回幹事総会  
於 福岡国際ホテル
- ／ 6.17 例会 於 印刷会館  
松尾, 齊藤両講師招いて
- ／ 6.18 第1回従業員研修会  
松尾, 齊藤両講師
- ／ 7.14 例会 於 福岡電信電話会館
- ／ 8.12, 13 第2回夏期セミナー  
於 福岡国際ホテル  
小谷, 伊坂, 海老の三講師  
招いて
- ／ 9.16 例会 於 印刷会館
- ／ 10.29 例会 於 天神ビル  
水野講師招いて
- ／ 10.30 第2回従業員研修会  
水野講師招いて
- ／ 11.24 例会 於 印刷会館  
尾石印刷専務招いて
- ／ 12.17 創立2周年記念  
於 福岡国際ホテル  
記念講演とパーティー  
講師 四島司氏招く
43. 1.13 例会 於 サッポロビール
- ／ 3.15 例会と臨時総会 於 印刷会館

### 昭和43年度事業計画案

#### 基本方針

永いのれんや, 特殊技術でカバーされて来た私達の印刷企業も厳しい近代企業としての在り方が絶対条件となって参りました。この変動期に業界の目となり耳となり考える頭となって勉強する若葉会本来の精神を大いに行動に移す一年間にしたいと思います。

猿まねでない経営者自身の企業態度をつくり出すためには, 自己管理が必要であります。従って会合はすべて定期・定時に開会し, 例会や研修会は若葉会精神の道場と考え, 反面, 懇親

会等は若者らしい独自の雰囲気と行動性を發揮する, このような方針で進みたいと思います。

#### 月次計画

- 4月 定時総会  
各社対抗ボウリング大会
- 5月 工場見学研修会  
5月例会  
印刷技術協会青年の家
- 6月 アメリカ視察団  
6月例会
- 7月 夏期セミナー  
7月例会
- 8月 研修会(従又は会)  
8月例会  
緑友会夏期セミナー  
8/24 8/25 犬山ホテル
- 9月 9月例会  
9/22 緑友会大会
- 10月 10月例会
- 11月 研修会(従又は会)  
11月例会
- 12月 3周年記念行事(忘年会)
- 1月 1月例会
- 2月 2月例会
- 3月 3月例会

## 印刷同友会

### 現況並びに今後の計画について

昭和42年度における同友会の事業報告については, 別添の報告書をもってかえますが, 省りみて昨年度は「豊かな人間性の創造」をスローガンにして各種の行事を行ない, 中でも世情の変化, 現象に対応したいいくつかのテーマを会員の声としてとりあげました。しかしテーマの設定と会員の動員数に対して一考を要すると思われる。

亦, 会員相互の意志の疎通を計り意見を述べる場として重要な役割を果す会報「印刷人」の発行については, 相当の努力をしながらも当初の目標を十分に達し得なかったことに自ら再検討の余地を見出している。

本年は, 昨年度のテーマを引継ぎ巾ひろい年

令構成をもつ会のあり方を基本的に再確認して、行事の企画立案、動員数の問題を討議しなければならないと同時に、会報の意義を新たに認識してその充実を計り、「行事と会報」の2点を別紙予算案に依り強力に推進し会の発展を期したい。以上簡略ではありますが、首題に添って報告し緑友の諸兄に対し、当会に適切など意見ご批判をいただき併せて会報へのご投稿など一層のご協力をお願い致します。

### 昭和42年度事業報告書

- 42.
- 4.21 総会（神田川志満）  
昭和41年度事業報告、決算報告、新年度事業計画、予算案、役員選出
- 5.30 講演会（東印工組 京橋支部）  
頭の体操 千葉大助教授 多湖 輝氏
6. 9 講演会（ 〃 ）  
トップの苦悩  
元東京都知事 東 龍太郎氏
7. 8 見学会 工場見学  
（サントリービール 武蔵野工場）
- 7.25 納涼会 懇親会  
（尾崎記念館霞ガーデン）  
住宅改良公社理事 新井英一郎氏
- 9.3.4 緑友会セミナー（熱海市起雲閣）  
経済講演 〃 経営者の物の見方・考え方、  
ダイヤモンド論説主幹 鈴木 健氏  
懇話会 〃 ドルッパから帰って、  
事例研究 〃 私は企業運営をこのようにしている、
- 9.22 講演会（東印工組京橋支部）  
交通事故における企業責任の問題点  
東京海上火災保険東京営業部次長  
菅原 謙吾氏
- 10.12 〃 （東京都勤労福祉会館）  
世界のマンモス企業（資本自由化の波の  
って）  
毎日新聞経済部副部長 田中洋之助氏
- 10.21 緑友会仙台大会（仙台市電力ホール）  
討論 〃 印刷社会の理想と現実、  
分科会 〃 集団協業化の問題点、

企業内における悩みを持ちよう、

- 11.28 座談会（東印工組京橋支部）  
生産性の増大と附加価値増大のための管理  
方法  
大東印刷工芸社長 花崎 実氏  
三松堂印刷社長 矢部 富三氏
- 12.18 講演会（東京都勤労福祉会館）  
管理者のリーダーシップとは  
ソニー(株)厚木工場長 小林 茂氏
- 43
- 1.19 新年会（神田川志満）  
新春放談、懇親会  
日本海洋産業研究所長 塩見 文作氏
- 2.24 見学会  
（富士写真フィルム・小田原・足柄工場）  
P・S版・フィルム製造工程及び品質管理  
他
- 3.15 参与会 懇談会（築地スエヒロ）
- 3.22 講演会（東印工組京橋支部）  
外から見た日本  
インド通信東京支局長  
ケー・ヴィ・ナライン氏
- |             |      |      |
|-------------|------|------|
| 昭和42年4月1日   | 会員数  | 122名 |
| 〃 42年度中     | 入会者数 | 2名   |
| 〃 42年度中     | 退会者数 | 16名  |
| 昭和43年4月1日現在 | 会員数  | 108名 |
|             |      | 以上   |

### 訂正

緑友だよりNo.12において札幌総会の開催月日が5月28日となっていたのは4月28日の間違いなのでお詫びして訂正いたします。

## 全国印刷緑友会会員名簿

昭 43. 7. 22 現在

No.	会 名	住 所	電 話	代 表 者	人 数
1	札幌緑友会	札幌市北三条西2丁目 (株) 藤田印刷所	(22) 4111	藤田 俊雄	19
2	秋田昭和会	秋田市大町3-5-30 秋田県印刷工業組合内	(2) 2961	相沢 隆一	22
3	山形印刷研修会	山形市本町2丁目1-34 菅原印刷所	(2) 6291	菅原 金一	29
4	仙台刷親会	仙台市清水小路6 丹野印刷(株)	(21) 2471	大津 俊雄	56
5	茨城緑友会	水戸市上水戸2丁目3番1号 (株) 川島紙店内	(21) 2205	大塚 成治	27
6	群馬緑友会	前橋市曲輪町81 原田印刷所	(2) 4367	石川 羚二	18
7	印刷同友会	東京都千代田区神田多町2-7	(251) 1667	白橋 達夫	108
8	文京緑友会	東京都文京区大塚4-39-13 文京印刷会館	(946) 4454	松本喜美雄	66
9	東京活字鳳友会	東京都千代田区三崎町3-4-9 宮崎ビル	(265) 3781	斎藤 実	11
10	東京写真製版若葉会	東京都千代田区三崎町2-42 東京写真組合内	(261) 2558	日出島清司	68
11	神奈川正和会	横浜市南区永田町1,178 大川印刷所	(731) 3664	佐々木久雄	25
12	新潟印刷新世会	新潟市川端町5 (株) 旭光社	(66) 6695	本間 吉平	27
13	長野青年印刷緑友会	長野市七瀬中町212 長野県印刷工業組合	(6) 3279	杉田 司	38
14	名古屋而立会	名古屋市東区高岳町2-2 印刷会館	(962) 7061	宇佐見礼次郎	46
15	ぎふ翠陽クラブ	岐阜市岩崎74-8 (株) 大鹿印刷所	(65) 5648	大鹿 洪二	35
16	神戸印刷若人会	神戸市生田区下山手通り5-21 兵庫県印刷工業組合	(34) 3857	岸 時弘	27
17	広島緑友会	広島市中町4-14 朝日精版印刷(株)	(41) 3591	尾山 整造	10
18	福岡印刷若葉会	福岡市舞鶴1-2-25 九州印刷文化出版社	(65) 2675	中村 昭治	46
19	北九州Y Pクラブ	北九州市小倉区中島町1丁目 (株) 渡辺印刷所	(55) 1988	渡邊 守将	15
20	久留米プリンティングクラブ	久留米市両替町20 三淵祥文堂	(3) 6182	川原 弘	16
21	熊本プリンティングクラブ	熊本市東外坪井町47 博文舎	(52) 6812	角 明彦	15
22	大阪青年印刷人クラブ	大阪市東区淡路町1-7 (株) 印刷之世界社内	(671) 6331	岩岡 敏志	59
23	大阪二世会	大阪市東成区大今里町2-754 吉谷商会	(981) 6655	中島 敏春	15
24	下関青年印刷人緑友会	下関市長府町土居の内 昌栄堂印刷社	(45) 0105	泉 和夫	13
25	佐世保印刷若汐会	佐世保市瀬戸越町260 (株) 隆文社	(3) 6306	井上 実	10
26	佐賀県印刷人若楠会	佐賀市城内2丁目3-19 佐賀県印刷工業組合内	(3) 2995	音成 一郎	19
					計 840

### 編 集 後 記

緑友会大会の一つの典型をここで作り上げよう……というくらい、ホストは細心の計画を実行に移していった。ホストグループの準備は、それだけに大変だ。大会では司会者や講演者、あいさつをする幹事長がスターなのではない。会員の参加、交流がスターであり主体なのである。そうしてはじめて、ほんとうの大会

となる。会員にも大会を作りあげる責任がある。

その意味で、果して典型的な大会となったかどうか、参加者に卒直な感想を寄稿していただいて、編集の支柱とした。

編集責任 幹事長 白石 豊  
発行 全国印刷緑友会事務局